愛　媛

健康公開セミナー

平成 29 年 12 月 10 日（日）13 時からエスポワール文教会館 2 階にて 11 回目となる健康公開セミナーが、一般公開として開催された。

挨拶に立った大川健介会長は「愛媛県健康公開セミナーに師走の忙しい時期にも関わらずご出席いただき厚く御礼申し上げます。愛媛県におきまして国体・全国障がい者スポーツ大会が開催され本日の演題は、この大会の救護活動、そしてプレイヤー活動として参加して活躍をしていただきました本会の会員の皆様の報告・検証であります。その救護活動は皆様もご存じのとおり救護におきましての負傷の処置であり、トレーナー活動は、怪我しない、させないというための処置であります。これらの活動はだんだん評価が高くなり、その必要性が認められているところでありますが、まだまだ我われ柔道整復師の間、一般の間でも、トレーナーという名前だけは理解しているが、その内容は分かっていない、把握できていないというところであります。本日の報告によりまして、その活動、その必要性についての認識を新たにしていただきますと本日の報告も有意義になると思います」と述べた。

続いて町野学術部長より説明があり、講師の方は当日えひめ国体・えひめ大会に、ボランティアと救護のスタッフとして参加した日下武史会員・町野公一会員・塩崎由紀会員が責任者となり担当した。

担当者は画像を見ながら項目ごとに説明した。

日下武史会員からは、えひめ国体・えひめ大会の開催に至るまでの会としての取組みや経緯の報告と本大会の柔道競技での救護・コンディショニング活動の報告。次に町野公一会員からボーリング競技におけるコンディショニング活動報告。最後に塩崎由紀会員からアーチェリー競技でのコンディショニング活動報告があった。

前回の岩手県の視察をはじめ、県内・外での研修会など大変なことも多かったが、無事にやり遂げ、利用していただいた方に感謝の言葉をいただけたので良かったと思う。最後に日下武史副会長が「これを機に、柔道だけでなく障がい者スポーツにも何らかのサポートが継続していければ」と閉会の挨拶を述べた。

（広報員　井関　澄男）